

## 牧師所感：

## 愚か者のお祈り

この齢になって(92)、真剣に主なる神に祈る、祈りの内容を聞いて、呆氣にとられる人は多いと思う。ところでその内容とは？ 前も『牧師所感』に述べたことがあるが、2018年に、CCC（世界聖市化伝道）に参加する為、アメリカのニューヨーク伝道に行った事がある。ニューヨークでは筆者は韓国チームの一員となって、夏季研修会に参加した。ところで私達は、ニューヨーク“マンハッタン”に拠点を置いて、全世界からニューヨークを訪れてくる青年達に伝道トラクト（用紙）を配って伝道した。その時の伝道隊を全世界から招いて夏季伝道に参加させたチームがICMであった。

その時、ニューヨークの伝道チームの指導者は、ICMであった。その時ニューヨークの伝道チームの指導者は、ICM（インターナショナル・クリスチャン・ミニストリー）のキム・ホーソン牧師であった。私達は20日間の真夏の伝道を終えて帰国することとなった。ところで私達の伝道の熱意に感動したキム・ホーソン牧師は、別れ際に「申牧師、私達ICMの伝道チームは、近い将来キャラバンBUSを購入して、キャラバン伝道隊（青年）を結成して、北アメリカ・南アメリカに伝道する計画です。どうかその隊に合流して“歌を歌って下さい”」と頼まれた。筆者はキム牧師の熱意に打たれて、“私もチームに入れて下さい”と言って同意した。

さてその後、日本に戻った筆者は、その約束を履行する為 祈り、キャラバンBUS購入資金として、何千ドル(\$ ) 集まった金額を贈ったことがある。今も毎月送っている。

さて、冒頭のタイトルに書いてあるように、愚か者の祈りについて、その理由を述べよう。まずは① 齢を取って(92) いる。② 若い青年でない。③ 皆が疑う。④ 家族が同意しない等である。しかし筆者は全能の神の保証を固く信じている。ところで筆者以外の人達は、愚かな祈りとして納得しないであろう。

ところで筆者も寿命に対しては、神の御意志で決まると固く信じている。しかしまた生かして下さっているから、そう簡単にはあきらめられない。ところで韓国の初代台湾宣教師であられたパン・チイル牧師は帰国後104才まで長寿して伝道された。筆者とて諦めることはない。

最後に、読者諸賢のお祈りを請う。旧約聖書に生きたモーセのように神様の御使命に忠実に従いたい。